

チグリハーブチャリティーライブ チグリハーブさんらがエール

5月29日、マイタウン白河で「チグリハーブ」さんによるチャリティーライブが開催されました。ライブは、震災による被災者を励ます目的で企画され、企画に賛同した福島市出身で元BOOWY（ロックバンド）のドラマー、高橋まことさんと長沢ヒロさんらがサポートメンバーとして参加しました。チグリハーブさんの持ち歌のほか「ふるさと」「翼をください」などが披露され「早い復興を願っています」と来場者にエールが送られました。



▲歌声で来場者を魅了

三輪工業が新工場の操業開始を報告 市政の発展に雇用面などで協力

5月31日、(株)三輪工業（三輪貴宏社長）が表郷八幡に完成した新工場の操業を開始し、鈴木市長を表敬訪問しました。鈴木市長は「震災の影響で暗いニュースが多い中、操業の開始は復興に向けて明るい話題。持ち前の技術力を生かして、新工場においてもよい製品作りを続けていただきたい」と歓迎の意を表しました。同席した三輪会長は「理想とする工場が出来上がった。引き続き市政発展に寄与するため雇用面でも協力していきたい」と話しました。



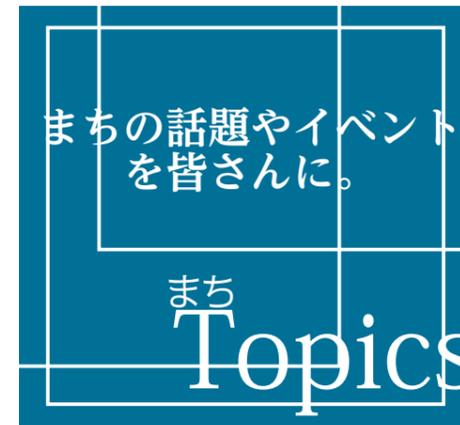
▲操業開始を報告する三輪会長（中央）と三輪社長（右）

沿道緑化フラワーロード事業 沿道に地域結束の花が咲く

6月5日から12日にかけて、白河地域5地区で、「沿道緑化フラワーロード事業」の花苗植え付け作業が行われました。作業を行ったのは、昭和町町内会(伊藤満会長)、小田ノ里第一・第二白寿会(鈴木邦彦会長)、住みよい五箇をつくる会(深谷稔代表)、小丸山寿栄会(栗田勉代表)、そして今年度新たに久田野自治会・久田野長寿会(菊地隆治代表)が加わり、各主要道路の沿道にマリーゴールドなどを植栽しました。なお、この事業は各地域でも実施しています。



▲久田野自治会による植え付け作業



姉妹都市フランス・コンピエーニュ市の副市長が表敬訪問 子どもたちからの寄せ書きや絵画が贈られる

6月17日、本市の姉妹都市であるフランス・コンピエーニュ市のアリエル・フランソワ副市長が、鈴木市長を表敬訪問しました。フランソワ副市長は「市内を歩き、道路の状況や建物など、震災による被害の大きさをあらためて感じた」と感想を述べ、フランスの新聞が伝えた震災の内容や、コンピエーニュ市長からのメッセージを鈴木市長に伝えました。また、コンピエーニュの子どもたちが早期の復興を願って作った寄せ書きや絵画などを手渡しました。前日には、7月27日からコンピエーニュ市へ派遣される市内の中学生たちと面会し、一人ひとりに「コンピエーニュで再会できることを楽しみにしています」と語り掛けました。中学生には、現地の小学生が折った折り鶴が贈られました。



▲中学生らと交流

交通安全鼓笛パレード 元気な演奏でまちなかもにぎわう

6月1日、市内の小学生らによる交通安全鼓笛パレードが行われました。今回から表郷地域の表郷小、大信地域の信夫一小、信夫二小、大屋小が加わり、市内13校、児童約1,280人が参加しました。児童たちは、白三小から市役所まで、元気な演奏を披露し、交通安全を呼び掛けました。沿道にはカメラ等を手に保護者や多数の市民がつめかけ、日ごろの練習の成果に拍手が送られました。



▲まちなかを元気にパレード